

令和6年度 第1回胎内市国民健康保険運営協議会

日時：令和6年9月12日（木） 13:30～14:30

会場：胎内市役所 5階 501会議室

出席者：第1号委員 河村委員 市村委員 小田委員

第2号委員 橋本委員 相澤委員

第3号委員 阿彦委員 石山委員

事務局：井畑市長 宮崎課長 矢部課長 川崎課長 傳参事 須貝係長 吉田参事

諸橋主査 小泉主事 宮村主任

発言者	発言内容
会長	<p>それでは次第に従いまして進行させていただきたいと思いますので、ご協力のほうよろしくお願いいたします。</p> <p>最初に（1）会議録署名委員の選出でありますけれども、会長に一任をいただき、今までの回り番の形で進めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、1号委員から回り順という形で動いておりますので、順番につきましては前年度から引き続くこととしまして、今回は市村委員にお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、（2）「令和6年度国民健康保険税の当初賦課の状況について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<資料に基づき説明>
会長	<p>事務局から当初賦課の状況について説明がありました。これについてご質問等ございますでしょうか。特段無いようではありますが、またお気づきの点があれば、最後のほうでまとめてご質問いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
一同	<意見・質問なし>
会長	<p>特段今の段階では無いようでございますので、進めさせていただきます。</p> <p>（3）「令和5年度胎内市国民健康保険事業特別会計決算及び事業運営の状況について」説明をお願いいたします。</p>
事務局	<資料に基づき説明>
会長	<p>ただいま、（3）の特別会計の決算及び事業運営の状況、5年度分ということで説明がありました。ご質問ご意見等ございますでしょうか。</p>
一同	<意見・質問なし>
会長	<p>特段無ければ進めさせていただきます。それでは、（4）「保健事業の実施状況について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<資料に基づき説明>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま保健事業の実施状況等について、ご説明をいただいたところでございます。皆様のほうからご意見なり、もうちょっとこら辺を聞きたいなというようなのがありましたら挙手していただければありがたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>ちょっと私から、説明をして欲しい事柄が1つありまして、資料の4ページをちょっと見ていただきたいと思います。さまざま今ハイリスクの方や、それからポピュレーションアプローチという話もさせてもらったのですが、この特定健診をやって特定保健指導に至る、この流れの中で、特定健診の受診率はだいたい47%前後で、この過去3年間推移してきていると、特定保健指導について漸減の傾向があると。3年度と4年度は少し減りましたという程度ですが、62%、64%、それが令和5年度になって50%と、これは随分大きな減り幅になってしまっている。要因分析して、こういうふうにしていきたい、していかなければならないなど、その辺り皆さんにちょっと説明してくれますか。</p>
事務局	<p>すみません。こちらは年度末時点の終了者で出した速報値のため、4月以降の終了者がまだ入っていない数字になります。その方々を加えると、12月に出る確定値では、たぶんですが6割は行くと考えています。</p>
事務局	<p>できるだけ直近のものを出すようにしてください。速報値では、説明としてあるいは比較対象として、皆さんが見ても分かりにくく、なぜこういうふうになっているのだらうと思ってしまう。「だいたいどの位の数まではきていて、ほぼほぼ何人くらいになりそうだ」という数値をできるだけこの場にメモでもいいから持って来て、説明できるようにしておいてください。</p> <p>だいたい去年、一昨年と同じくらいで、60%を超えるといったところまでは見ていると。では、皆さんそのように読んでいただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>委員の皆さんからごさいませんでしょうか。</p>
委員	<p>うちの家族の者も糖尿病の対象になりまして、熱心に働きかけをしていただいて、そういう機会を設けていただくというのは、胎内市とても熱心にやったださるので、ありがたいと思っています。</p>
委員	<p>意見というか感想ですけども、糖尿病はすごくお金がかかる病気ですね。高血圧とか脂質異常症になるとジェネリックがほとんど浸透していますので、そちらで処方できるのですけれども、糖尿病はGLP1やSGLT2などの新薬が出て来たので、けっこうそちらに移行している率が高くなってきて、医療費をかなり圧迫するというのはいつあります。あと治療のほうはやっぱり定期的に受診・血液検査が必要になる。皆さん柿を食べたりおいしいものを食べたりして、特に秋はすごく本当に恐ろしい時期で、けっこう悪化してしまいます。1か月や2か月に1度くらいずつ血液検査をしないとイケないので、やはり医療費を圧迫するのかなというふうに思いますね。</p> <p>あともう一つ、先ほど福祉介護課から説明していただいた資料の3ページの平均自立期間と平均余命で、男性、女性と差がありますけれども、よく思うのは女性の場合はみんなさわやか教室やウサギの会、すこやかしあわせ教室ですとか、ほとんど女性しか出ていない。ほぼ意見書をそれしか</p>

	書いたことがないです。何とか男性を引っ張り出してくるというか、魅力的な企画をしていただけると本当に助かると思います。なかなかプライドが許さないなどもあるかもしれませんが、表に出たほうがいいかなと思う男性もたくさんいるので、そういう部分を考えていただけると助かるなと思います。以上です。
会長	ありがとうございます。ほかに何かございませんか。
委員	<p>私は感想になってしまうのですが、今ほど先生からお話がありましたけれども、やはり糖尿病の医療費の比率が高いということで、どうしても病気が見つかるのが遅くなってくると、その時はちょっと手遅れという状態になってくると、どうしても薬を何種類も重ねて治療で使って行かないと数値がもう下がらないというふうになってくる。未病な状況、早目の状況から保健指導なりしていただいて、病状が悪化する前に生活指導につながるとまたいいのかなというふうにちょっと思いました。</p> <p>あともう一点、ジェネリックの話なのですが、ジェネリックがちょっとずつ年々増えてきているということで、最初の資料の4ページ目ですかね。こちら令和3年度から6年度ということで約4%だんだんと上昇してきている中で、10月からまたちょっと選定療養制度というのが新しく加わります。お蔵入りではない限り先発医薬品を選択される患者さんが、保険とは別に自己負担としてちょっと増えるような制度が始まります。今指導しているのですけれども、もしかしたら今まで先発医薬品を希望したけど、やはり負担が増えるのであればジェネリックに変えて行こうかなという患者さんも増えてきています。またちょっとジェネリックの使用率推進にもつながっていくことになるのかなというふうに今考えているところです。</p>
会長	ありがとうございました。
委員	<p>私は施設の利用者の男女比を見ていると、女性が圧倒的に多くて、男性はなかなか入ってこない。いらっしゃることは多くなってはきているのですが。あと介護予防教室もやはり男性の参加者が少ない。けれどもぶれすぽとか付いて行くと、会社を退職された生き生きとしている男性が非常に多いんですね。その男性は同じメンバーの人たちがいろんな所に所属していて、いろんな人がいろんな所に行くのではなくて、同じような方たちがグループに所属しているというのが見えてきて。家に引きこもってしまう男性と、出る人はいろんな所に出て行ける男性がいて、その違いといたしますか、プライドとかという言葉もありますし、他に何か原因があるのかなというところです。ボランティア活動にしても、いろんな会が違っても同じメンバーの方たちが一緒というのが非常に見えますので、そこでいろんな方がいろんな所に行けるような取り組みや、定年退職した後に行ける場所を考えるのもいいのかなと思います。私の主人も65歳で今月退職したのですけれども、家にいるのですね。どこかへ行けばと言ってもやはり働いていたから行きたくないのかもしれないですけど、孫が帰ってくるまでの何時間か何処かへ行って何かやればいいのかと思うんです。その辺何と</p>

	<p>かならないのかなというのはうちの家族だけでなく、いろんなボランティア団体、運動しているところを見ると、同じメンバーの人たちだけが胎内市の中で動いていて、家にいるもっといっぱいいる人たちが、そのままになっている。その家にいる人たちがどんどん老化していったり、フレイル状態になったりというふうにならないように取り組んでいける何かいいアイデアないかなと思っていました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
事務局	<p>皆さんありがとうございました。実は私もこのページは気になったところなんですよね。皆さんもたぶん説明を聞いていて、なぜそうなっちゃっているのかなというふうな印象があったのではないかなと。というのは男性と女性でこういう違いがあります。全国的、新潟県において男性と女性、こういう違いがありますというのが、胎内市にそのまま当てはまっているというところであると、もう少し全体的に考えればいいのかも知れないけれども、胎内市で女性は平均余命も自立の期間も長いですね。しかもだいぶ優位に長い。3歳であるとか5歳であるとか、そういうスパンで長くて、男性は短いと、そうすると際だって、ここにも書いてあるのだけど、男女差は市では5歳差があるというふうな形になっている。私たちは今皆さんのご指摘等も踏まえつつ、もう少しじゃあ新潟県の他の市町村の男性と女性はどういうふうに違って、どういうふうなアプローチをしているのかとか、ちょっと調べたり学んだりする必要があるかなというふうに感じました。参考となるような例があれば、新潟県内の他の市町村もそうですし、全国的にこれだったら男性も女性と同じように参加しやすかったり取り組みやすかったりしている事例があるかどうか。ちょっと学んでみてそれを生かし、そして次回以降皆様にも少しでもお示しできるような、そういうことを考えて参りたいと思います。なおまたその他にも皆様方から、うちの配偶者、あるいは近所の男性、どういった方でもいいですけども、こういった動機の中でこういった取り組みをしてとても元気、そういうグループがあるとか、またさまざま教えていただければ。ボランティアなんか確かにそうなのですよ。同じような方がいろんな所で活躍されている。でも本当に固定化されているという、そういったところはよく見聞きするところでございますので、いずれにしてもちょっと深掘りをして、そして皆様にもお伝えできるようにそのようなことを考えて参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ご意見等伺いながらその他のほうに少し入ったような気がしていますけれども、改めましてその他ということが入りたいと思います。始めに事務局のほうから何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>特に議題は用意してございません。</p>
事務局	<p>ちょっと1つだけ。いまジェネリックの話題が出ましたけれども、10月から新しい制度といったお話がありました。4ページのジェネリックの医薬品の普及率でございますが、胎内市、実は20市の中で16番目という低</p>

	<p>い位置でございます。トップのほうとは7%違うくらいですけども、他市に聞いてみますと胎内市と特に変わったような活動はしていないといえますか、医療費通知や差額通知とか保険証送付時に案内をやられているみたいですけども、そこら辺がなぜ胎内市は低いのかを考えても、なかなか思いつかないというところでした、やはりお医者様が処方する時にあまりジェネリックのほうをお勧めにならないのか、その辺ちょっとどうなのかなと思ひましてお伺いしたいです。</p>
委員	<p>一つは最近のジェネリックの供給が非常に不安定ということが少しありますね。それでジェネリックだったのが先発に戻ったりすると両方同じだと思ひますけれども、なかなか製薬さんと僕たちの関係などもあって、1つの薬が切れてしまうと他の製薬会社に頼んでもお薬が回ってこないということがあり、なかなか先発品からジェネリックに切り替えられないみたいな事情、最近はそういうのが時々あります。</p> <p>あと、たぶんジェネリックじゃなくて先発品を好むという医師もおります。お薬手帳などを見ると、全部先発品で抗生剤投与して、ビックリするのもあったりするのです。そういうことはむしろ薬剤師さんも良くご存知だと思いますけれども、なかなかどうしてもジェネリック嫌いな医師も実際にはいますので、そのところの比率が高いのがちょっと分からないですけども、一つ要因としてはあるかも知れません。ただ最近薬の供給が不安定なので、今度10月から始まる選定療養制度は、非常にちょっと恐ろしい気がしますね。</p>
会長	<p>ありがとうございました。何かございませんか。</p>
委員	<p>私も思いとしては先生と同じように処方する医師の考え方もあるだろうし、あとはジェネリックの供給不足。でもどこの市町村も変りはしないので、あとはジェネリックのない新薬を積極的に使うというお医者さんもいらっしゃいますので、そういった理由でジェネリックの使用率が低くなっているというのもあるのかなと思ひたりします。他の市町村との差が7%くらい違うという、この差がどういう影響で出ているのかというのは私もいま考えていますけれども、そんなにちゃんとした理由が出て来なくて申し訳ない。</p>
事務局	<p>先ほど言われるような新制度の移行によって、これが違った流れを生んで行くかもしれませんね。今後さすがに我々のほうでもそこら辺をPRしてみたいと思ひます。こういうふうなところで特段の理由が無いと、患者さん側にもというか、料金的な面でも不利益になるということをお知り置くださいというようなメッセージを出すことによって、そうすると自然にジェネリックで十分だといったところが浸透していくかもしれないので、それもPRなどもしてその状況を見て、また皆様方からご意見などもお尋ねしたり、とりわけ先生方にも教えていただく、またその状況なども皆さんにも伝えていただければありがたいと思ひますのでよろしく願ひいたします。</p>

<p>会長</p>	<p>それでは全般をとおしまして、何かご意見等ありましたらお願いしたいと思いますが、特別ないでよろしいでしょうかね。</p> <p>はい、それでは、私のほうに預けられました議事につきましてこれにて終了ということで、事務局のほうにお渡ししたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>大変ありがとうございました。本日は委員の皆様方、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。本日出ました意見を参考に、今後の国保事業の運営に役立てて行きたいと思います。本日の協議会これで閉会いたします。本当にありがとうございました。お疲れ様でした。</p>